

～未来につづく子供たちのために～

## 荒井 恵美

### クリスマス チャリティ・コンサート Vol. IV

EMI ARAI Christmas Charity Concert Vol. IV

共演

Pf.&Cond. : 松川 儒 Bar. : 太田 直樹

Org. : 中村 全希 Vl. : 佐久間 大和、佐久間 瑞穂

合唱 : コーラス・ピアチーレ

2004年 12月23日 (木・祝) PM.2:00

神奈川県民ホール 小ホール

《後援》ドイツ連邦共和国大使館 / (財)日独協会 / 神奈川県 / 神奈川県教育委員会 /  
(財)横浜市芸術文化振興財団 / 鎌倉市教育委員会 / 鎌倉音楽クラブ / FMヨコハマ  
《主催》荒井恵美 チャリティ・コンサート実行委員会  
《企画製作》ピアチーレ・ムジカ

「荒井恵美 クリスマス・チャリティ・コンサート」の開催を心からお喜び申し上げます。

子どもたちの未来の幸せと人類の平和を願って開催されるこのコンサートは、今回、4回目を迎えました。戦争に巻き込まれて傷ついた子どもたちに思いを馳せ、国境も民族も超える力を持つ素晴らしい音楽を通じて、その健やかな成長を願う、誠に意義深い催しであります。コンサートの開催にご尽力されている関係の皆様へ深く敬意を表します。

本県は、平和な風土づくりに向けた平和意識の普及や地域からの国際交流・協力を推進しております。本日のコンサートが、多くの皆様に、未来の世界を築いていく子どもたちの将来と平和の大切さ、さらに、身近なことからできる国際協力について考えていただくよい機会となることを期待しております。

「荒井恵美 クリスマス・チャリティ・コンサート」が多くの皆様に賛同いただき、大きな成果を得られますことを心よりお祈りいたします。

神奈川県知事 松沢 成文

「荒井恵美 クリスマス・チャリティ・コンサート Vol.IV」の開催を心からお慶び申し上げます。

音楽は、私たちの心を豊かにし、潤いを与えてくれます。また、音楽を通じて、子どもから大人まで多くの人たちの心が通い合い、感動を共有することが出来ます。本日のコンサートでも、きっとそれらを感じることができると期待いたします。

本日の収益金は戦争で傷ついた子どもたちのために寄付されると伺っております。子どもは私たちの宝です。未来を担う子どもたちが笑顔で元気に、そして、安全に安心して暮らせる社会を築くことが、私たち大人に課せられた使命であると思っております。私も、子どもたちの元気な声が聞こえる鎌倉のまちづくりを目指し、これからも努力してまいります。

結びに、荒井恵美様はじめ、出演される皆さんの歌声に込められた想いが一つになり、子どもたちの心に届きますようお祈り申し上げますとともに、本日のコンサートのご盛會を祈念し、お祝いのご挨拶といたします。

鎌倉市長 石渡 徳一

## MESSAGE

### ドイツ国際平和村からのメッセージ

荒井恵美様、

貴女とそのお客様皆様に、長年に渡るご支援を心から感謝致します。

今年もまたチャリティ・コンサートをドイツ国際平和村217人の子供たちの為に開催して下さる事は何と素晴らしい事でしょう。

近く、平和村では新施設が完成し、そこへの通りを“RUA HIROSHIMA”という名前をつける事が自治体から許可されます。この“RUA”とはポルトガル語で“道”と云う意味であり、ポルトガル語圏のアンゴラだけでなく、アフガニスタンやその他の地域で働いている私たち平和村との連帯を意味します。

又“HIROSHIMA”は日本人々と私達とのかねてからの深い結束を表すだけでなく、1945年8月6日にその地におとされた原爆、そして3日後の長崎により、今日までに20万人を超す方々がその悲劇の運命を追わなければならなかったという、人類が忘れてはならない歴史を象徴しております。

“RUA HIROSHIMA”とは世界の永久の平和と軍縮の為の、我々の義務のシンボルなのです。

敬愛する Emi Arai とご来場の皆様に、コンサートのご成功をお祈りすると共に、至福のひとつときをお過ごしになれます事を信じております。

寒いドイツから愛をこめて、

ヴォルフガング・メルテンスと平和村全ての子ども達と仲間より

Merry Christmas

Merry Christmas

異国の星空に眠る子どもたちにも、

疲れ果て、明日を夢見られない大人たちにも、

Merry Christmas

Merry Christmas

希望と幸せへの祈りが、

世界中の心に微笑を与えて下さいますように…



本日はご来場下さいまして誠に有難うございます。また、開催する毎により多くの方々のご協力と励ましを頂き、大変感謝しております。このひととき、皆様と一つの和となり未来の尊さを願えたら幸せに存じます。

2004. 23. December

Emi Arai

PROGRAM

[ 1部 ]

オルガン・Organ

J.S.バッハ “主よ、人の望みの喜びよ” (カンタータ 147 番より)

“Jesus bleibet meine Freude” from Cantata BWV147

合唱&ソロ&オルガン・Chor&Solo&Organ

G.フォーレ 『レクイエム』 [Requiem] op. 48

入祭唱とキリエ Introit et Kyrie / 奉献唱 Offertoire

サンクトゥス Sanctus / ビエ・イエズ Pie Jesu / アニヌス・デイ Agnus Dei

リベラ・メ Libera me / 天国にて In Paradisum

[ 2部 ]

ソプラノ&ピアノ・Sopran&Piano

林 光 「四つの夕暮の歌」

夕暮は大きな書物だ / 誰があかりを消すのだろう

誰もいない隣の部屋で / 死者のむかえる夜のために

バリトン&ピアノ・Bariton&Piano

山田耕祐 待ちぼうけ / 中田喜直 木 兎 / 宮崎進 なわすれぐさ

2ヴァイオリン&ピアノ・2 Violin&Piano

P.サラサーテ 「二つのヴァイオリンのためのナヴァーラ」 Op. 33

P. Sarasate 「Navarra」 op.33

ソプラノ&バリトン&ピアノ・Sop&Bar&Pf

W.モーツァルト 二重唱 “パパパ…” (歌劇『魔笛』より)

W.A.Mozart “Papapa…” from 「Zauberflöte」

ソプラノ&ピアノ・Sopran&Piano

W.モーツァルト “アレルヤ” (モテット K.165 より)

W.A.Mozart “Alleluja” from Motett K.165

PROGRAM NOTE

主よ人の望みの喜びよ・・・・・・J.S.バッハ (1685~1750)

カンタータ第147番「心と口と行いと生命をもて」の中の1曲(第1部・第6曲)。原由は室内楽と合唱による。誰からも愛されるその美しい旋律は、多くの作曲家たちが色々な形に編曲し、世界中の聴衆を楽しませている。本日の編曲は酒井多賀志氏。

『レクイエム』・・・・・・G.フォーレ (1845-1924)

初演は1888年にパリのマドレーヌ教会で行われているが、その着想は1885年の父親の死と相次ぐ母親の死であり、その追悼の意志により約1年のうちに書き上げられた。モーツァルトの『レクイエム』とは作風が異なり、テキストの省略やフランス音楽らしい自由さがある。フォーレの好んだ教会旋法は古雅な余韻を漂わせ、「主よ、永遠の休息をかれらに与えたまえ」と始まる「祈り」は全曲に響きわたり、神々しくこの上なく美しい「レクイエム」となっている。

『四つの夕暮の歌』・・・・・・谷川俊太郎作詞

林光29歳の作品。1,3,4篇は『愛のかたち』から、2篇は『あなたに』から選び連作の形にした。日常の夕暮れ時から流れゆく時間と時間の間は、密やかな想いに満ちあふれている。又4篇は未来を見つめるメッセージ性のこもった作品になっている。

待ちぼうけ・・・北原白秋作詞。中国の民話からとられた内容の歌でコミカルな作品。

木 兎・・・三好達治作詞。己に厳しい詩人の自問自答、諦めと虚無感をドラマティックな音楽の世界に願い上げた。

なわすれぐさ・・・北原白秋の詩「なわすれぐさ」に作曲したこの小品は、1993年の歌曲集「なわすれぐさ」の第3曲として作曲された。白秋の妖艶な世界を音に映しだしている。

『二つのヴァイオリンのためのナヴァーラ』・・・・・・P.サラサーテ (1844-1908)

スペイン、バンプロナ生。神童であった彼は、1908年にその生涯を閉じるまで華々しい演奏活動を続けた。彼の作品はどれも自らの妙技を最大限に展示する、まさに純粋にヴァイオリン的なものばかりで、この曲も2つのヴァイオリンが技巧の限りを尽くし、競演と呼ぶにふさわしい効果を上げた華やかな曲である。

わう「魔笛」より「パパパ…」の二重唱・・・・・・W. A. モーツァルト (1756-1791)

苦難の旅道中、鳥追いババゲーノはやっと出逢えたババゲーノと逃れてしまうのだが、再会できた驚きに「君はパ、パ、パ、ババゲーノ!？」と歌い出す。やがて2人は大いに喜んで「たっくさんの小さちやなババゲーノとババゲーノと暮らしましょう!」と未来の幸せな家族を夢見てはしゃぎまわる。

モテット「エクスルターテ・ユピラーテ」より「アレルヤ」

モテット(邦題「踊れ、喜べ、幸いなる魂よ」)の第3曲目。ミラノ滞在中に書かれたこの作品は、モーツァルトがまだ17歳に満たない時のもの。華やかなコロラトゥーラと共に生命力溢れる音楽はみずみずしく、今日でも大変有名なモテットの一つ。

## CAST PROFILE

### 荒井 恵美 Emi Arai / ソプラノ Sop.

北鎌倉女子学園音楽科、東京芸術大学音楽学部声楽科卒業。二期会オペラスタジオ研究所修了。1990、91年ドイツ留学。E・ウェルバ、E・ヘフリガー、D・ハーバー、E・ヒレマンの各氏に師事。'92年草津国際音楽フェスティバルに助演。'93年『E・ヘフリガー／クリスマスコンサート』（カザルスホール）等に助演。同年、NHK洋楽オーディション合格。友愛ドイツ歌曲コンクール入選。第5回日本声楽コンクール第1位、並びに田中路子賞受賞。副賞により翌年再び渡欧、E・ヘフリガー、I・ゲージ氏の元などで研鑽を積む。'95年第6回日本モーツァルトコンクール第3位。その後、今井信子音楽監督の『インターナショナル・ヒンデミット・フェスティバル』により本格的デビュー。以降数多くの舞台で日本歌曲、ドイツ歌曲を中心にコンサート歌手として高い評価を得ている。オペラにおいては『カルメン』（メルセデス）、『魔笛』（ダーメ）、『コシ・ファン・トゥッテ』（ドラベラ）等を演ずる。宗教曲においてはヘンデル『メサイア』、モーツァルト『レクイエム』、『ハ短調ミサ』、ベートーベン『ハ長調ミサ』、グノー『戴冠ミサ』、フォーレ『レクイエム』等のソリストを務める。初ソロ・リサイタルとしては、1998年リーダーイベント『五月の夜に』を開催。以降'99年『日本歌曲の夕べ』、2000年『ウィーンとイタリアの風』、2002年『ドイツ歌曲の夕べ』と重ねる。

また、ソロ活動の傍ら、1999年、ライフワークとして～未来につづく子供たちの為に～という主旨に基づき、横浜みなとみらいホールにて『第1回 クリスマス・チャリティ・コンサート～ドイツ国際平和村におくる～』を開催。今回、第4回目を迎える。現在、二期会、横浜シテリオペラ、鎌倉音楽クラブ、各会員。

### 松川 備 Manabu Matsukawa / 指揮、ピアノ Cond. & Pf.

東京芸術大学附属音楽高校を経て、東京芸術大学音楽学部ピアノ科を卒業。その後、ドイツ・シュトゥットガルト国立音楽大学大学院を経て、ドイツ・カールスルーエ国立音楽大学大学院リート科を修了。帰国後は、国内外のみならず客船（国際航路）等でもその活動を広げ、コンサートではソロ・ピアニストとして、又、室内楽・声楽伴奏で貴重なアンサンブル・ピアニストとして、今日まで声楽分野を中心に多数の著名演奏家との共演を続けている。朝日新聞社主催「ヴォルフ歌曲全曲演奏会・全12回」に於いてはピアニストとして出色の成果をあげ、今後全シリーズを担当する予定。第11回シューマン国際コンクール公式ピアニスト（ドイツ/ツヴィッカー）。現在、洗足学園音楽大学、玉川大学各講師。

### 太田 直樹 Naoki Ota / バリトン Bar.

東京芸術大学大学院、シュトゥットガルト音楽大学修了。オペラ研究所第8期修了。伊藤互行、G・ライヒ、K・リヒターの各氏に師事するほか、E・ヘフリガー氏のマスタークラスに参加。新国立劇場、二期会、東京室内歌劇場、東京オペラプロデュースなどのオペラ公演、演劇コンサート、浜離宮朝日ホール/ヴォルフ歌曲全曲演奏会シリーズなど、ドイツ歌曲を中心とした演奏会、草津夏期国際音楽祭、O.E.全沢定期演奏会等の他、宗教曲の独唱を多くつとめている。二期会会員。

### 中村 全希 Zenki Nakamura / オルガン Org.

玉川大学芸術学科オルガン課程卒業。及び同大学芸術専攻科修了。卒業時に日本オルガニスト協会主催、第15回新人演奏会に出演。専攻科修了年8月に第1回のソロリサイタルを開催し好評を博す。以後、隔年でソロリサイタルを開催している。また玉川大学主催の音楽鑑賞講座においてのトーク付きのコンサートやオーケストラとの共演等各地で幅広く活動している。現在、玉川大学芸術学部講師、日本基督教団小松川協会オルガニスト、日本オルガニスト協会会員、日本キリスト教礼拝音楽学会会員。

### 佐久間 大和 Yamato Sakuma / ヴァイオリン Vl.

東京芸術大学音楽科卒業。1994年藝科高原音楽祭音楽賞受賞、同音楽祭主催のコンサートに多数出演。その活動範囲は広く、クラシックのみならず、ジャズ、ポピュラー、ピアノ等レパートリーは多彩。現在東京アーティスト合奏団のコンサートマスターを務めるかたわら、ソロ、室内楽を中心に活動している。2002年上条恒彦氏を迎え制作された音楽劇「円仁」の作曲を担当。2005年には初のソロリサイタルを東京と福岡で開く予定。

### 佐久間 瑞穂 Mizuho Sakuma / ヴァイオリン Vl.

東京芸術大学卒業。彩の国新進音楽家オーディション合格、デビューコンサート出演。現在文化庁在外派遣研修員としてウィーン国立音楽大学に在学中。

### コーラス・ピアチェレ Chorus Piacere / 合唱 Chor.

今回のチャリティ・コンサートの趣旨に賛同したメンバーにより新しく結成された合唱団。65名からなる団員は19歳～76歳と、その年齢層は幅広い。

#### Sop:

池田純江 内山哲子 金子有子 (PL) 斎藤寿子 嶋田典子 庄司邦子 白井那央子  
城間亜希 杉田智恵子 曾我部久子 田中久美 飛川みつ子 仲山みどり 西山美和子  
野上栄子 深津智子 古屋洋子 宮内真弓 宮本信子 和田健美

#### Alt:

伊東敦子 古賀孝子 荻方由恵 後藤友子 酒井雅江 椎橋シズエ 島田澄江  
戸谷清美 中出京子 橋本朋子 堀尚子 古田智子 増田恵美子 (PL) 溝江松美  
宮澤典子 矢野文子 山崎邦子 横溝けい子 米内みさ

#### Ten:

阿部真利 伊藤正昭 (PL) 遠藤恵紀 太田和生 金田昭治 吉賀知 (団長) 小林勉  
坂本勝 谷川勲 中田哲彦 丸山孝之 若林高広 渡辺和美

#### Bass:

青木栄治 阿部進行 (PL) 新井正昭 小原昭 加藤隼人 狩野博美 椎名裕之  
柴谷浩二 鈴木明彦 瀬尾豊一 福岡照夫 宮本雅夫 横溝敏雄

練習ピアニスト：上原千佳子 小山優子 田中久美 PL…パートリーダー

## 聖 夜

1 *Stille Nacht , Heilige Nacht ,  
Alles schläft einsam wacht  
Nur das traute hoch Heiligen paar  
Holder Knab' im lockigten Haar,  
Schlaf in himmlischer Ruh*

2 きよしこの夜 星はひかり  
すくい御子は 御母の胸に  
眠りたもう 夢やすく



ドイツ国際平和村は、紛争地域や危機に瀕した地域の子どもたちを助けるために、ドイツの市民の手によって1967年7月に設立されました。

《平和村の3つの活動》

☆傷ついた子どもたち、病気の子どもの治療をヨーロッパで行っています。

その多くが、母国に残されていたなら、生き残るチャンスのない子どもたちでした。

☆紛争地域・危機的状況にある地域での援助活動（プロジェクト）を行っています。

現地での医療状況の改善を目指しています。

☆平和村の紹介を通して、平和への関心を高めるための活動も行なっています。

### 寄付金口座

東京三菱銀行 本店 普通口座

口座番号：0152887

口座名：ドイツ平和村

または Aktion Friedensdorf e.

FRIEDENSDORF INTERNATIONAL

《ドイツ国際平和村》

P.O.Box140162,46539 Oberhausen

<http://www.friedensdorf.de/japan/>

TEL +49-(0)2064-4974-126

FAX +49-(0)2064-4974-999